



2010年7月13日

MediciNova, Inc.
代表取締役社長兼 CEO
岩城 裕一
コード番号: 4875 大証ヘラクレス
問合わせ先: 東京事務所代表 副社長
岡島 正恒
電話番号: 03-3519-5010
E-mail: info@medicinova.com

旧アヴィジェン株主に対する支払い期日（予定）に関するお知らせ

2010年7月12日 メディシノバ (MediciNova, Inc.) (米国カリフォルニア州 サンディエゴ、代表取締役社長兼 CEO: 岩城裕一) は、旧アヴィジェン株主に対するエスクロー口座からの初回の支払いを、2010年7月29日に行う予定であることをお知らせいたします。

合併契約の契約条件によると、旧アヴィジェン株主は、2010年6月30日前後に、第2回支払対価として、150万米ドルからアヴィジェンに帰すべき追加の資産または負債による調整を行った金額を、株式数で比例按分した額の支払いを受けることになっています。しかし、アヴィジェンの代表者及び当社は、第2回支払対価のうち、総額50万米ドルまでの支払をウェルズファーゴ銀行の信用状の有効期限まで延期することに合意いたしました。これは、アヴィジェンの使用していたビルのリース契約満了時が2010年11月30日であることに起因しております。信用状のもとで受益者に支払われる金額がエスクロー残高と相殺され、2010年12月31日以前に、旧アヴィジェン株主に支払われることとなっています。この時点で、すべての当社の使途制限付現金は、制限なしとなります。

さらにアヴィジェンの代表者及び当社は、合併契約締結時（署名時点）の見積りを超過した債務の充足を目的として当社が支払った金額について、事務の便宜上、2010年7月15日までに調整を行い、決定するよう努力することに合意しております。この調整金額の決定後、エスクロー口座の残高は、旧アヴィジェンの株主に、株式数による比例按分で支払われます。この件について、2010年7月15日までに、アヴィジェンの代表者及び当社が合意に達することができなければ、独立会計事務所を雇い、2010年7月29日までの解決を図ります。当社による請求金額について決定された後、エスクロー口座の残高は、株主数による比例按分により、アヴィジェン株主に還元されます。

以上

メディシノバについて

メディシノバ (Medicinova, Inc.) は、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を主として米国で行う公開製薬企業です。弊社のパイプラインには、喘息急性発作、COPD (慢性閉塞性肺疾患)、多発性硬化症を初めとする神経疾患、神経因性疼痛、薬物依存、喘息、間質性膀胱炎、固形癌、全般性不安障害、切迫早産、尿失禁など、多様な疾患の治療を目的とする6つの臨床段階の化合物と、血栓症治療を目的とする2つの前臨床段階の化合物が揃っております。メディシノバは、当面その戦略として、喘息急性発作及びCOPDの治療薬MN-221と多発性硬化症及びその他の中枢神経系疾患治療薬MN-166/AV411との2つの優先的開発化合物に資源を集中して開発を進めていく予定です。MN-221については、米国内で独自に開発を行い、一方MN-166/AV411については、開発に際して、戦略的な提携関係を構築することを考えております。また、他の製品候補につきましても、現金化を試みて参ります。弊社詳細につきましては<http://www.medicinova.jp>をご覧ください。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ4350、スイート950 (電話 1-858-373-1500)です。

このプレスリリースには、1995年米国民事証券訴訟改革法 (The Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性および効能を実証する臨床試験に関する記述、既存または将来の臨床試験の計画や目的および製品開発に関する計画または目的に関する記述などが含まれます。このような記述には、臨床試験の結果、現段階の臨床試験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではないこと、将来の臨床試験のタイミング、費用、計画など、臨床試験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素、FDAに対して書類を提出するタイミング、当社の戦略の失敗、第三者との提携構築、アヴィジェンとの合併により、イブジラストに関する開発プログラムを統合することにより期待される戦略的、財務的メリットを実現する可能性、イブジラストに関する開発プログラムを進めるための戦略的提携交渉、または、資金調達の可能性、知的財産権や契約上の権利を初めとして、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつかの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。